

# 「むなかた地域」における 在宅医療推進の取り組み

～保健所主導から医師会主導の拠点事業へ～  
平成20年～23年まで

宗像医師会訪問看護ステーション  
管理者 阿部 久美子

# 支援に悔いを残した事例

30歳代男性：尿管がん、膀胱がん術後、多発骨転移 主介護者母親  
病院：化学療法繰り返すもこれ以上治療は無い。何かあったらすぐに当院へ。

正月だから家族と一緒に過ごしたらい  
本人・家族が望むのでもっと病院で療養したい。帰国したくない。

退院時共同指 望（退院先へ）

12/25 在宅退院  
退院後 訪問（正月も）  
麻薬  
だからターミナルは  
看たくない！

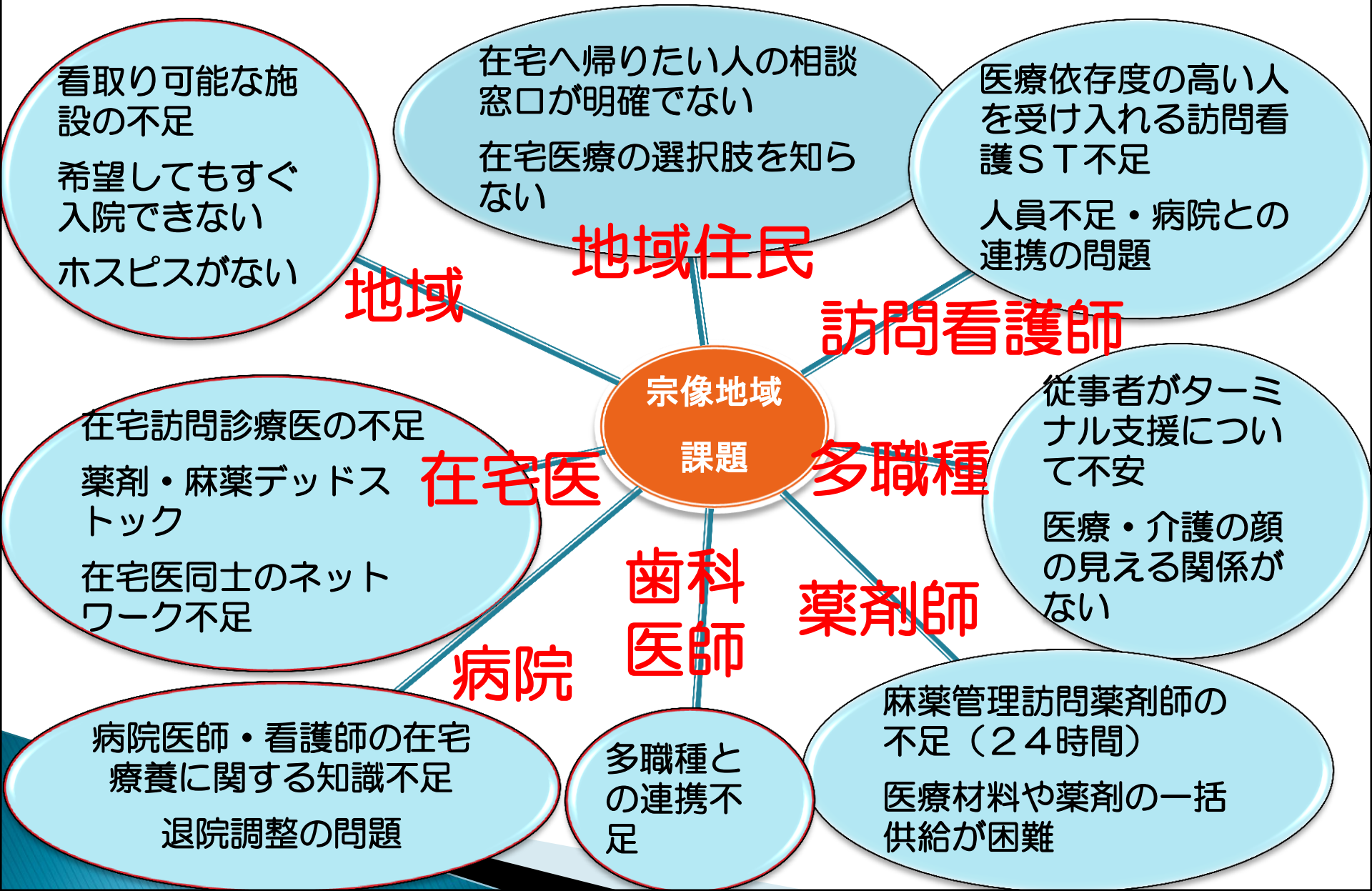
1/2 AM 意識レベル低下。入院。入院後 病院へ電話  
当直医「連れてきてもターミナルだし、主治医がいないので…」

母親：どこでもいいから入院させろ。救急車で地域内の救急病院へ搬送。

1/3 AM 搬送先病院で死亡。

母親：こんな悪いなんて説明はなかった。病院の当直医の対応はひどかった。  
ホスピス予約していても入れない。

# 平成20年宗像地域在宅医療推進事業（福岡県宗像保健所実施） 訪問看護ステーションアンケートより（地域の把握）



平成20年度 宗像地域在宅医療推進協議会立ち上げ（保健所主導）  
 保健所の強み：地域の特性を分析、把握・地域の関係機関の協力（行政の力）

平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
--------	--------	--------	--------

福岡県）在宅医療推進事業（4カ所のモデル地区に選定）宗像保健所協議会発足（年2回開催）委員内訳  
 在宅診療医師  
 医師会担当理事  
 歯科医師会理事  
 薬剤師会長  
 訪問看護管理者  
 介護支援専門員  
 がん拠点病院医師  
 看護師  
 地域包括支援センター  
 学識経験者

訪問看護事例提供  
 がん終末期・在宅医療課題

**協議会委員への動機づけ**  
 システム構築の意義

- ・市民講座（在宅医・訪問看護師・ケアマネジャー・看取りをした家族からのメッセージ）年1回

- ・研修会の開催

事業内容について訪問看護管理者相談支援

- ・相談支援センター（地域住民相談支援チラシ配布）

がん末期退院時  
 共同指導・事例検討会

（担当保健師が訪問看護管理者に同行し参加）

保健所）施設での看取り講座（保健所が募集、訪問看護管理者が3カ所の施設で座学と指導）

保健所協議会を解消

医師会拠点事業へ

保健所・歯科・訪問）無料歯科検診

医師交流会・薬剤師・訪問）1回目  
 宗像在宅薬剤・医療材料供給システム原案を提案

システム構築の核となる会議

行政・医療・ケアマネジャーのリーダーで構成

訪問看護の視点を通して地域の課題解決に向けた取り組みを提案

# 協議会での顔の見える関係から協力者へ

平成20年度 保健所主導で宗像地域在宅医療推進協議会発足  
在宅医療推進に熱心な保健所長と保健師の存在  
宗像地域では終末期医療をがんのみでなく・神経難病まで含み支援  
協議会委員の活動により、運営に必要な委員の呼びかけで、在宅  
医療を推進するのに必要な人材の確保で顔の見える関係性を構築

- 平成23年度までの課題（宗像地域にあったネットワークつくりのために）
- ・24時間在宅医療提供ネットワーク構築が困難（医師会の積極的な関与が必要）
  - ・協議会が年2回で遅々として進まない（専任の担当者が必要）
  - ・保健所担当者が1年で異動する為体制構築までいかない
  - ・1年単位の細やかな多職種連携研修スケジュールが必要
  - ・事業の継続が重要（県モデル事業は終了の可能性あり）

平成24年度 宗像医師会が厚生労働省在宅医療・介護連携拠点事業を受託  
医療と介護・福祉をつなぐ役割で活動  
「むなかた地域」におけるネットワークの構築

医療介護の  
協力体制構築

地域包括ケアシステム構築に向け宗像市・福津市の取り組みを  
宗像医師会・保健福祉環境事務所（保健所）で支援

# 「むなかた地域」における 在宅医療推進の取り組み

～地域包括ケアシステム構築に向けて～  
平成24年拠点事業開始～現在まで

宗像医師会在宅医療連携拠点事業室  
荻野 裕子

# 平成24年度～宗像医師会在宅医療連携拠点事業の取り組みの経過

平成24年度	平成25年度	平成26年度
<p>医師会) 宗像医師会在宅医療連携拠点事業受託（2100万円）</p> <p>運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●プロジェクト委員会（医師会内）</li> <li>●運営委員会 （行政も含めた医療・介護多職種の責任者）学識経験者</li> </ul> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●在宅医療支援ネットワークマニュアル</li> <li>●地域の資源マップ・ガイド</li> <li>●後方支援病床確保マニュアル作成</li> <li>●多職種研修会</li> <li>●地域リーダー研修</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ICT活用した患者情報共有（iPad利用）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域住民） 市民講座・シンポジウム</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●在宅医療相談支援窓口</li> </ul>	<p>医師会の運営へ 拠点事業継続（医師会共同利用施設で運営）</p> <p>継続的に運用・更新</p> <p>スマートフォン活用へ</p> <p>寸劇で住民啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ボランティア養成講座</li> </ul>	<p>宗像市・福津市より財政支援 医師会共同利用施設の資金 福岡県）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域ケア会議におけるモデル市決定</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●運営委員リハビリ職・介護保険課長追加</li> <li>●むなっこの会（地域包括ケアに向けた取り組み1回/月） 医師・介護職・リハビリ含む</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>●医師会） 在宅がん化学療法</li> <li>●栄養士）訪問栄養指導</li> <li>●包括支援センター・保・医師会）</li> <li>●地域ケア会議開催支援（2市）</li> </ul> <p>むーみんトークへ（経時的にメールで会話が入力可能に）</p> <p>シンポジウム・講演</p>

# 宗像医師会在宅医療連携拠点事業室 「むーみんネット」

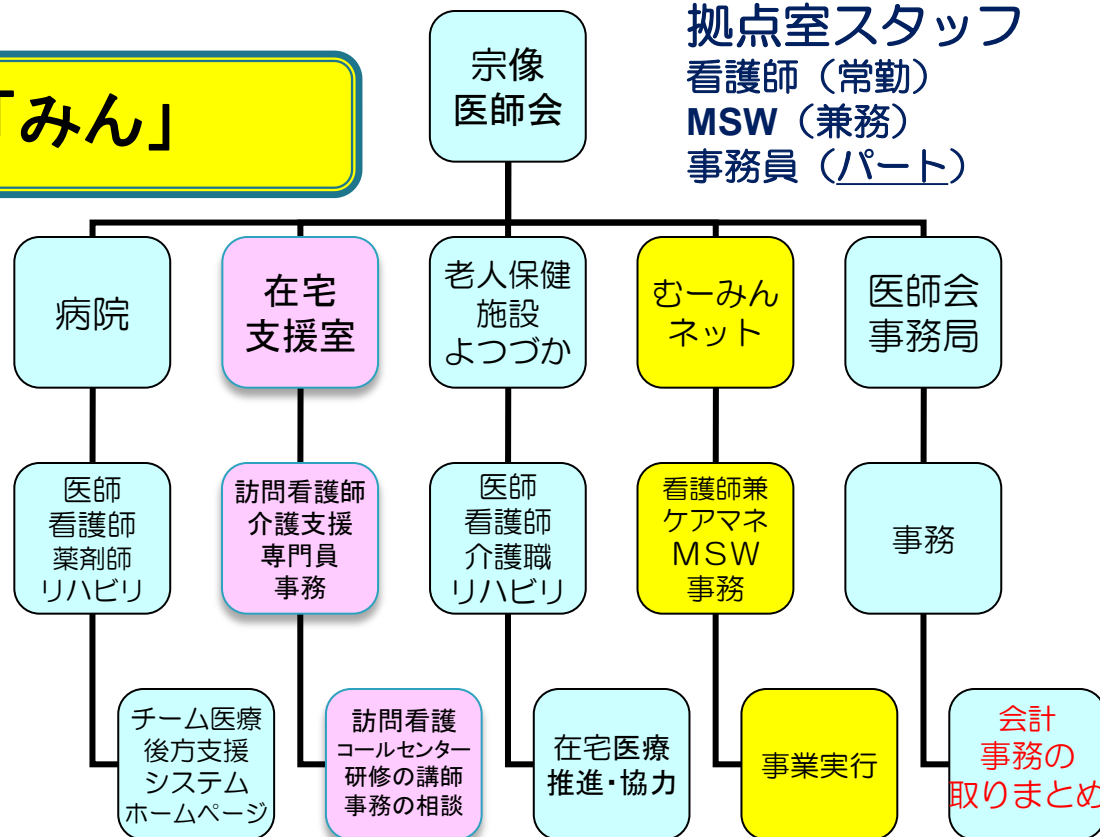
## 組織図

拠点室スタッフ  
 看護師（常勤）  
 MSW（兼務）  
 事務員（パート）

宗像の「む」みんなの「みん」

### 「むーみんネット」の目的

- 1、地域医療・介護関係者による協議の開催
- 2、医療・介護関係機関の連携の促進
- 3、在宅医療に関する人材育成や普及啓発



### 【医師会が事業を行う強み】

- 共同利用施設内での協力体制
- 地域に根ざした医療と看護を基盤に
- 行政、職能団体との構築された関係性
- 住民への普及啓発活動

### 【活動の継続性】

- ・ 経済的支援：行政、医師会内での運営費分担
- ・ 固定した職員で運営
- ・ 医師会トップの理解と協力
- ・ 組織内の協力体制



# 宗像医師会在宅医療連携拠点事業・包括ケアシステム運営の組織図

【宗像医師会在宅医療連携拠点事業】

運営委員会	
【事務局】	萩野 久米 富永(議事録)

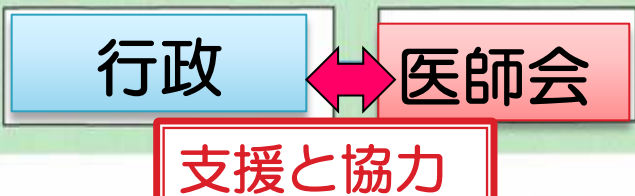
会長	上田 寛	保健所	高田 淳子
相当理事	吉田 道弘	宗像市	吉永 敦子
在宅医	小島 武士		伊藤 利昭
	岩野 歩		藤原 万人
歯科医師会	北村 哲朗	福津市	中村 慈宏
薬剤師会	安東 恵津子	大学	古川 浩二
訪問看護	阿部 久美子	病院	尾形 由起子
	塩宮 里香		伊東 裕幸
ケアマネ	松本 直人	拠点室	井ノ畑 伸子
	小川 健一郎		萩野 裕子
訪問リハ	坂口 聡子		久米 祥代

【地域包括ケアシステム運営会議】

包括ケア運営委員会	
◎今古賢	
○萩野	
富永(議事録)	

宗像医師会在宅医療連携拠点事業運営委員会

地域包括ケアシステム運営委員会



プロジェクト会議

医師会	理事	吉田 道弘
	理事	小島 武士
	課長	道祖田 厚子
	院長	大塚 毅
医師会病院	看護部長	渡辺 和博
	事務部長	今村 朋子
	副看護部長	小齊 勉
	企画情報管理室	阿部 久美子
在宅支援室	訪問看護	山下 佳代
	ケアプラン	日野 由和夫
よつづか	施設長	尾野 明子
	師長	萩野 裕子
拠点室	室長	久米 祥代
	主任	富永 友子

地域リーダー研修	
医師会	小島 武士
歯科医師会	北村 哲朗
薬剤師会	安東 恵津子
訪問看護	阿部 久美子
ケアマネ	松永 幸代
地域連携室	茅島 浩子
リハビリ	坂口 聡子
宗像市	有吉 富美子
福津市	朝長 弘美
保健所	山口 智子
	萩野 裕子
拠点室	久米 祥代
	今古賢 和子

地域リーダー研修

むなっこの会

宗像医師会	塩宮 里香
宗像歯科医師会	中島 美穂子
宗像医師会	阿部 久美子
訪問看護ステーション	菅 康子
宗像医師会ケアプランサービス	山下 佳代
福岡県立大学	尾形 由起子
宗像薬剤師会	安東 恵津子
福津市社会福祉協議会	西内 則子
グリーンコープお結び	後藤 美穂
宗像市	有吉 富美子
福津市	朝長 弘美
宗像・遠賀保健福祉環境事務所	吉永 敦子
医師会病院	井ノ畑 伸子
ケアプランセンター太平洋	松永 幸代
	萩野 裕子
むーみんネット	久米 祥代
	今古賢 和子

# 看護職がひっぱりそれを支援してくれる 医師会と行政・多職種

## プロジェクト委員会



毎月開催

担当理事・訪問看護師・病院職員・ケアマネジャー・老健看護師・医師会事務局・拠点スタッフ等

## 拠点事業運営委員会



年3回開催

医師会・歯科医師会・薬剤師市・行政（宗像市・福津市）保健所・訪問看護師・ケアマネジャー・学識経験者等のメンバーで構成

## むなっこの会



月1回

地域ケア会議（両市）



宗像市・福津市包括支援センター・行政・多職種

- ・事業の検討、調整、実施
- ・会報の発行
- ・医師会共同利用施設内での病院から在宅へ向けたシステム作り

- ・研修会やフォーラム開催運営における多職種の協力（病院職員・地域の事業所職員等）

地域の力が上がる

- ・看護の力で地域を牽引  
医師会がバックアップ  
医師会・行政の協力

# 「むなっこ」の取り組み(1回/月)

## ●「むなっこ」立ち上げの目的

宗像医師会管轄地域である宗像市・福津市における地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みを後方から支援し、宗像医師会を基盤とした2市自治体との相互協力体制で活動

## ●会議の様子



- ・宗像医師会の基盤の下に、組織化
- ・メンバーは女性医師をはじめ多職種の有志で構成
- ・女性のもつ情報発信力・機動力を視점에潜在ニーズを顕在化、地域課題発見
- ・支援困難事例からの共通項目の洗い出しに効果を発揮



地域ケア会議の必要性・重要性を提言・推進

## ●今までの活動

テーマ	内容	課題の確認
支援困難事例(福津市)	障害者サービスから、65歳になり、介護保険サービスへ移行についての検討	障害者プランと介護保険関係者間の摺り合わせ
支援困難事例(宗像市)	病院からの退院調整機能、連携のあり方	病院の退院調整機能多職種による支援、住民協力の必要性
病院と地域との連携	急性期病院から地域へ	認知症、独居、難病支援

	H25年												H26年	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
プロジェクト委員会	(4/25)	(5/30)	(6/27)	(7/18)	(8/29)	(9/19)	(10/17)	(11/21)	(12/26)	(1/30)	(2/27)	(3/27)		
計画書提出														
4/19 プロジェクト事業チームメンバー選出(新)		事業運営委員選出(新)												
事業チーム(2名+事務)	事業チーム始動	運営委員へ出席依頼文書発送・訪問依頼開始 5/15～												
既存の研修会参加・支援	4/13 関係者話し合い、研修会開催予定すり合わせ①	宗像薬剤師会「緩和ケアにおけるサイコソロジーの実践」ケアマネ、訪問看護・病院職員広域協力 80名	6/7 10:00 福津市・宗像市・保健所・むいみん話し合い ②在宅ホスピスを語る会打ち合わせ(予定)	7/11 訪問看護・薬剤師会研修会(案内・協力) 110名参加			10/2 保健所研修10/2薬剤師会打ち合わせ 10/23 薬剤師会研修	11/12薬剤師会打ち合わせ	12/2薬剤師会打ち合わせ(見本市) 12/6・11 薬剤師会研修支援	1/23・ 薬剤師会研修支援(芝原医師)			3/21(土) 在宅ホスピスフェスタ(ポスター・展示)	
地域へ情報発信(お知らせ・案内)	ホームページの活用		6/10 たより発行(第1号) (医師会・事業所)	たより秋号準備開始(リレー原稿依頼済)			9/10頃 たより秋号(第2号) (医師会・事業所)	たより冬号準備	12/10頃 たより冬号(第3号) (医師会・事業所247か所)	たより春号準備(尾形先生・松本氏)			3/1頃 たより春号(第4号) (医師会・事業所)	
多職種ネットワークへの会議参加・支援														
主催する研修会・事例検討会・交流会(医師・訪問看護・介護・ケアマネ)		介護職ニーズ調査5月末集計・計画は/ 検討会					10/17(木)18:00～介護職研修…身体介護技術「移乗動作の基本」 ●在宅ホスピスボランティア養成講座	ボランティア養成講座 11月は3回 11/2・16・30	ボランティア養成講座 12月は1回 12/14	1/11(土) 在宅ホスピスを語る会(ふくおか在宅ホスピスをすすめる会) 現場実習開始	訪問看護ステーション現場研修		3/15ボランティア養成講座 修了式	
医師交流会開催			7/19 19:00 (病院主催・意見交換会)										2/13 医師および多職種対象「在宅医療研修会」 152名	
資源ガイド更新				資源マップ・ガイド 介護事業所にアンケート発送(7/5～10)締め切り7月中 登録開始	アンケート結果集約		資源ガイド作成 ホームページ掲載 上記お知らせ送付	資源ガイドCD配布へ(ホームページアップ) 300枚(CM・医療機関・事業所等)						
訪問支援	0		4(5)	3(8)	4(9)	5(14)	1(15)	4(19)	3(22)	3(25)	2(27)			
相談支援	1	0	4(5)	3(8)	8(16)	9(25)	7(32)	6(38)	3(41)	2(43)	0			
退院支援の支援		3	9(12)	6(18)	3(21)	3(24)	3(27)	2(29)	2(31)	2(33)	3(36)	2(38)		
IT関連	患者情報共有システム運用(評価)修正		患者情報共有システム・訪問看護情報共有システム評価(随時修正)				9/24スマホ対応説明会							
拠点事業運営委員会 行政・医師会・薬剤師会等多職種で構成 行政含む多職種(宗像地域医療推進協議会は活動休止)	運営委員構成メンバー 保健所とすり合わせ			7/25 第1回運営委員会				10/7(月)19時～ 第2回 運営委員会					3/12 第3回運営委員会	
広報活動	ホームページ活用(お知らせ・案内)	地域住民PRのためのチラシ作成	ネットワークマニュアル ホームページアップ(会員向け)	ホームページ・厚生労働省成果報告(厚労省はアップ)・便りアップ その他	講演会チラシ作成		資源ガイドCD配布へ(ホームページアップ) シンポジウム チラシ作成	10月～シンポジウム チラシ配布(宗像市・福津市全戸配布)ホームページアップ					2/26(水)14:15～14:45 JICA研修(11名)	3/7(金)TQM大会で発表
地域リーダー研修(多職種合同研修会)	地域リーダー研修会支援	地域リーダー研修…県	県…6月 検討会(吉田理事) 6/14県庁	8/6 19:00～地域リーダー研修会予定(同じメンバーで再度開催) 課題と取り組み 8/27打ち合わせ	9/30 メンバー切一覧作成		10/2519:00～ 地域リーダー研修会打ち合わせ	11/29 19:00～ 地域リーダー研修会打ち合わせ	12/21(土) 59名 13:30～16:30 多職種連携研修(地区リーダー) 研修会開催6地区	1/31地域リーダー研修会福岡県へ実績報告提出				
住民向け研修会等			特別講演講師決定		医療機関、訪問看護、ヘルパーステーション、ケアマネ事業所、行政、市報その他広報活動			11/9 13:00～250名 ①特別講演 ②在宅医療シンポジウム(演者・コーディネーター)		1/26 薬剤師会合同開催市民のための在宅医療・介護見本市(ユリックスにて)400名 前日在庫搬入				
備考	運営委員メンバー(多職種):医師会理事1名、訪問診療医師(福津1名・宗像1名)・医師会病院(医師・地域連携看護師) 薬剤師会・歯科医師会・ケアマネ(福津1名・宗像1名)・訪問看護師(2名) 行政(保健所2名・宗像市2名・福津市1名)有職者1名・拠点事業2名 合計19名													1年間の事業のまとめ

# 関係機関の連携促進

## 在宅支援ネットワーク マニュアル

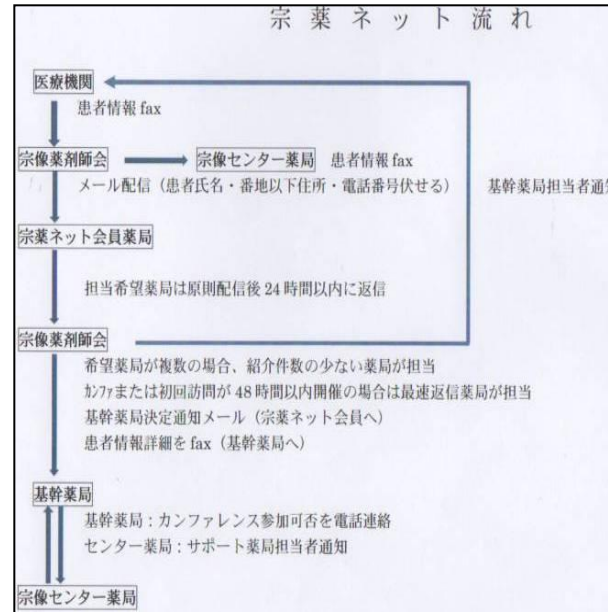
### 内容

- 薬剤・医療・衛生材料供給システム
- 医療材料・診療報酬請求
- 在宅がん医療総合診療料請求
- 主治医不在時、依頼対応
- バックベッド・レスパイト入院手順
- 医療機器災害時の対応マニュアル

- 24時間在宅医療を支えるための整備

## 薬剤師による 在宅訪問指導

### 薬剤師による24時間対応 システム「宗薬ネット」を整備



- 24時間麻薬・注射薬剤の供給や医療材料の小分けが可能
- 薬剤師が退院時共同指導  
介護サービス担当者会議に参加・情報共有

## 病院との連携により 後方支援病床確保

### 病診連携で支援するバックベッド確保やレスパイト入院 受け入れ手順 (医療従事者用)

#### 目的

宗像医師会病院は、在宅医療を包括、継続的に支援していくためバックベッド（緊急一次入院ベッド）・レスパイト（家族等介護者の休息入院ベッド）目的での入院受け入れのためのベッドを確保し、在宅医療を支援しています。...

長期まで自宅で...と希望している患者さんが、希望した場所で、安心して療養ができるように受け入れ態勢を整えています。スムーズにかつタイムリーに患者さんや家族の要望にお答えするために、予め在宅診療に携わる医師・宗像医師会訪問看護士と病院とで連携をとれるシステムです。...

#### 対象者

在宅医・かかりつけ医の診療を受け、宗像医師会訪問看護ステーションからの訪問看護を利用され、緊急の入院や家族の介護休憩のために入院が必要な方。

#### バックベッドまたはレスパイト入院の流れ

当院への受診や入院が必要と考えられる場合は、在宅医・かかりつけ医より宗像医

登録患者数	入院	在宅看取り	継続
55名	12名	31名	11名
(期間 H24.3~H27.1)			

- 患者情報を共有し、24時間対応できる体制を整備
- 在宅医療の安心を担保

# 関係機関の連携促進

## 在宅訪問栄養指導 (医師会病院栄養士)

### 計画書

### 報告書

利用後及び家族の意向	1. 本人の意向、家族の意向、医師の意向を十分に話し合い、在宅訪問の必要性を判断し、在宅訪問の可否を決定する。
解決すべき課題(ニーズ)	在宅訪問の目的、内容、期間、回数、費用、その他必要な事項を決定する。
実施目標(ゴール)と期間	目標1: 栄養指導が出来る 目標2: 3日/1回より頻回、安全に栄養指導が出来る 目標3: 経口摂取を促すことが出来る 目標4: 栄養指導が出来る 目標5: 相談が出来る
短期目標と期間	栄養士の栄養指導、食事、栄養指導の計画、実施、評価、改善のサイクルを短期間で実施する。
振り返りメニュー	1. 在宅訪問の目的 2. 在宅訪問の必要性を判断する 3. 在宅訪問の計画、実施、評価、改善のサイクルを短期間で実施する

- 退院時共同指導、介護サービス担当者会議参加・情報共有
- 計画書・報告書作成
- 栄養指導(本人・家人・ヘルパー)
- 塩分、たんぱく、カリウム制限・調理指導

## 在宅がん化学療法開始 (在宅医・薬剤師・訪問看護・病院医師、薬剤師認定看護師)

- 医師会病院・在宅チーム打ち合わせ



- ◆アバスチン
- ◆ハーセプチン

## 在宅訪問歯科診療

### 保健所の事業

- 在宅歯科健診
- 通院できない人で噛むことに問題のある人の健診
- ⇒訪問健診
- ⇒治療の出来る歯科診療
- 歯科訪問診療マップ
- がん末期や在宅療養者の訪問歯科診療
- かかりつけの無い場合
- ⇒歯科医師会が紹介

## がん化学療法認定看護師による研修会



宗像医師会訪問看護ST

- 在宅、施設への訪問歯科診療
- 在宅・施設での嚥下指導
- 口腔ケア指導
- 多職種へ研修実施
- 拠点事業への参加、運営会議参加



塩分濃度測定



ペースト

栄養士

# 関係機関の連携促進

## 資源ガイド作成・資源マップの更新

	医療機関	介護事業所	歯科医師	薬剤師
平成24年度	45(42.9%)	76(58.7%)		
平成25年度	75(71.4%)	115(81.4%)	51(79.7%)	12(21%)
平成26年度	81(77.1%)	172(75.3%)	50(76.9%)	15(100%)

※ 薬剤師については宗薬ネット対応

医療機関名	[ ]		院長名	[ ]			
住所	〒811-3434 福岡県宗像市村山1071		窓口担当者 (Dr.代理対応の方)	[ ]			
	TEL	0940-36-4118	FAX	0940-36-4118			
	メール	★各自でアドレスを交換してください					
					<ul style="list-style-type: none"> <li>・ していない</li> <li>・ していない</li> <li>・ 受けられない</li> <li>・ していない</li> <li>・ 無</li> </ul>		
医師との面談方針 (優先順位 (1~6の番号をつけてください))	往診同席	外来同席	電話連絡	FAX連絡	メール連絡	その他	
担当者会議への医師の参加 (必ず行ってください)	先生の都合に合わせた時間	先生の医療機関で開催の場合	30分以内なら可能	15分以内なら可能	15分以内なら可能	困難	
退院時カンファレンスへの医師の参加 (必ず行ってください)	先生の都合に合わせた時間	入院先医療機関で開催の場合	30分以内なら可能	15分以内なら可能	15分以内なら可能	困難	
主治医にアポイントメントとる際に (必ずおこなってください)	曜日 (○×をつけてください)	月	火	水	木	金	土
多職種の方々への要望 (連絡時の注意事項等)							

退院時共同指導・サービス担当者会議参加有無、開催希望曜日・時間



資源マップ

ケアマネジャーの連絡・対応可能時間

診療所・事業所情報

- 医療機関・介護事業所の資源ガイドは年々、協力機関が増加
- 協力機関へCD配布し多職種の連携や社会資源の利用に活用

# 関係機関の連携促進

## ICTを用いた患者情報共有システムの開発と継続

在宅医師・歯科医師・訪問看護師・ケアマネジャー・薬剤師・病院地域連携室職員

登録患者総数  
51名  
(平成24.2~平成27.1)

患者ID:	43210
患者氏名:	時任道男
訪問日時:	2013/01/15
記録者(ログイン):	(小斉 勉)
血圧:	mmHg 半角数値で入力してください(例: 120/80)
脈拍:	回 / 分 半角数値で入力してください(例: 60)
体温:	℃ 半角数値で入力してください(例: 36.5)
SpO2:	% 値で入力してください(例: 95)

訪問日時 必須  
日付: YY/MM/DD 時刻: HH:MM

記録者 必須  
宗像 一郎 (ライズ管理者)

メモ:

登録する

Copyright © mumin-net. All rights reserved.

- 平成26年からiPad⇒スマートフォン活用へ(個人メールや事務所携帯登録)
- 担当する医師・薬剤師・訪問看護師をひも付けして登録
- 訪問診療前に訪問看護師から患者情報を医師へ提供
- 時間外の訪問診療の内容・薬剤師の訪問内容の情報提供



# 関係機関の連携促進

## ICTを用いた患者情報共有システムの開発と継続

在宅医師・歯科医師・訪問看護師・ケアマネジャー・薬剤師・病院地域連携室職員

もーみんネット  
宗像医師会 在宅医療連携拠点事業室

ログイン: 小齊 勉さん ログアウト

ホーム 掲示板 患者情報 各種設定

ホーム > 患者一覧(検索) > バイタル・訪問メモ(検索) > バイタル・訪問メモ

患者情報 (バイタル)

基本情報 | バイタル・訪問メモ | ファイル集検索 |

時任道男さんのバイタル・訪問メモ

※半角カナは一部環境で文字化けする可能性があるため、使用しないでください。  
※糖種依存文字は使用しないでください。  
※画像および関連ファイルで一度にアップできるファイルサイズの合計は5MBまでです。

患者ID:	43210
患者氏名:	時任道男
訪問日時:	2013/01/15
記録者(ログイン):	(小齊 勉)
血圧:	mmHg 半角数値で入力してください(例: 120/80)
脈拍:	回 / 分 半角数値で入力してください(例: 60)
体温:	℃ 半角数値で入力してください(例: 36.5)
SpO2:	% 値で入力してください(例: 95)

登録患者総数  
51名  
(平成24.2~平成27.1)

〇〇診療クリニック 〇〇医師  
18:00  
家族の希望で本日往診しています。  
食事水分入らず、ソルデムA500ml点滴  
しています。明日からの指示は、様子  
を見て明日指示します。

- 平成26年からiPad⇒スマートフォン
- 担当する医師・薬剤師・訪問看護師を
- 訪問診療前に訪問看護師から患者情報
- 時間外の訪問診療の内容・薬剤師の訪問



# まとめ

- 地域包括ケアシステム構築に向けた取り組みは必要

## 今後の展望と地域予測

### 1. 地域包括ケアシステムの構築

- ・保健所・市町村との協働・連携（財政的援助・ケア会議の開催・地域包括支援センターとの連携・行政の独立した部署の確立）
- ・小児から高齢者まで支援（がん、精神、認知症等）
- ・認知医療センターとの連携（研修や個別訪問）

### 2. 24時間在宅医療を支えるシステム（地域で完結）

- ・病院からスムーズな移行、バックアップ体制
- ・24時間医療提供体制を支える多職種育成
- ・スマートフォンを活用した情報共有

### 3. 地域で支える住民力の育成

- ・住民啓発、地域で支援する力の育成（隣組・民生委員・ボランティア等）、地域・民間資源マップの作成